

アンケートにご協力ください

① もりりんをどこで入手しましたか？ (1つだけ) 【必須】

- ① 学校、幼・保育園などの教育機関 (家庭配布を含む)
- ② 観光施設や道の駅、直販所など
- ③ 図書館、郵便局、銀行、病院などの公共施設
- ④ スーパーマーケットなどの量販店
- ⑤ 住宅展示場
- ⑥ その他()

② なぜ、もりりんを読もうと思いましたか？ (1つだけ) 【必須】

- ① いつも読んでいるから
- ② 森林に興味があったから
- ③ 表紙がよかったから
- ④ 表紙に書かれているタイトルが気になったから
↓ 気になったタイトルをお選びください(いくつでも)
- 特集 木の贈り物〜ずっと一緒に、大切に〜
- 特集 卒業生のご家族に聞いてみました。
- 特集 おしえて! マモルン
- 木の家が持つ魅力をチェック。【快適なくらし】
- 6歳になったら机を作ろう!
- 情報イロイロ“積み木のコーナー”
- 森からの素敵なプレゼント
- その他(具体的に)
- ⑤ その他()

③ どのページが面白かったですか？ また、どのページに興味を持ちましたか？ (いくつでも) 【必須】

- 特集 木の贈り物〜ずっと一緒に、大切に〜
- 特集 卒業生のご家族に聞いてみました。
- 特集 おしえて! マモルン
- 木の家が持つ魅力をチェック。【快適なくらし】
- 6歳になったら机を作ろう!
- 情報イロイロ“積み木のコーナー”
- 森からの素敵なプレゼント
- 表紙
- YouTubeの映像
- その他(具体的に)

④ 高知県が行っている森林環境税や本誌について、感想や意見ををお願いします。

.....

.....

.....

⑤ もりりんクイズ

裏表紙のクイズの正解を言っている森の妖精をお選びください。(1つだけ)

- [A] ナーラ [B] ハーリー [C] カッシー

*アンケートへのご協力、有難ございました。

「イベント開催一覧」

- **山の仕事体験講習 (10日間コース)** 令和5年1月16日⑧〜27日⑨
チェーンソーや刈払機の講習、安全衛生対策や法律などを学習。個別面談も実施。
(申込締切:12月28日) ※参加費無料 ■場所/高知県立森林研修センター ■問合せ/高知県林業労働力確保支援センター ■TEL/0887・57・0366
- **第10回CLT建築推進フォーラムin Kochi** 令和5年1月20日⑩13:00〜15:20
大豊学園の紹介、近畿大学岩前教授による木造建築物の講演など。(申込締切:1月10日・先着100名) ※参加費無料 ■場所/ちより街テラス3Fちよテラホール ■問合せ/CLT建築推進協議会事務局 ■TEL/088・855・7050
- **林業就業支援講習inこうち (4日間コース)** 令和5年2月14日⑪〜17日⑫
作業見学や安全衛生対策、原木市場、製材工場、建築事例を学習。個別面談も実施。(申込締切:1月27日) ※参加費無料 ■場所/高知県立森林研修センター ■問合せ/高知県林業労働力確保支援センター ■TEL/0887・57・0366

情報イロイロ “積み木のコーナー”

寄付で森林保全 「緑の募金」を 「存じ」ですか

「緑の募金」は、高知県森と緑の会が窓口となり、県内の団体や法人、ボランティアグループによる植樹活動など森林の整備、シカ食害防止のためのネット張り、森林環境教育など緑化の推進に使われています。

県内のサニーマート、サンシャインチェーンなどのスーパー・量販店、コンビニ、ホームセンターなど、暮らしに身近な場所にて「募金箱」が常設されています。元気な森づくりに一人ひとりの応援を!!

問合せ/公益社団法人 高知県森と緑の会
TEL/088-855-3905
https://www.moritomidori.com/



11月11日は
「こうち山の日」

木の文化賞表彰式 in 中央公園

もくもくエコランド2022第5回森林環境学習フェアの会場で第20回高知県木の文化賞表彰式が行われました。今年度は、木造建築物及び木造建造物の部で、萩野家住宅様、香長小学校児童クラブ様、県産木材の利用促進の部で有機的建築 村上様を受賞。受賞された皆さまには賞状と記念プレートが授与されました。



一つのもので作られるまでにはさまざまな過程があることを見せてあげたい。



山番有限責任事業組合 稲葉俊佑さん

6歳になったら机を作ろう! 木こり体験&机作り体験



身の回りにあるものすべて、さまざまな人が関わって手間ひまかけて作られています。それを知ること、ものを大切に思う心が養われます。

ばうむ合同会社代表 藤川豊文さん

木こり体験編【ばうむ合同会社】

兄弟で力を合わせて
昆布、塩、米、魚、サカキを供え、山の神様に祈りをしたら、早速、木を切っていきます。最初は横に切って、次に斜めに切り、切り口が三角形になるようにして倒す方向を決めます。最初はごちなく、上手に扱えなかったのこぎりも、引いて切るというコツを徐々につかんだ兄弟は「2人で協力しようね!と、仲良くやる気まんまん。交代しながら最後まで、元気よく切りつけます。20分ほど後に、大木が大きな音とともに狙いどおりの方向へ倒されました。

森の神様に「挨拶

今日は「木こり体験」の日。参加したのは、大阪在住の下川さんご家族です。午前10時に本山町のばうむ合同会社の工房に集合した後、1台の車に乗って山へ移動します。本山町役場を過ぎる頃から、道はどんどん登り坂。目の前に広がる青空、山々や棚田の風景を眺めながら約30分歩きます。スギの林の間からは、いくつもの細い光が射し込み、川を流れる水音は、大自然の中でびっくりするほど響き渡ります。ここは標高約750mの場所。少し肌寒い空気です。

主催者である藤川豊文さんと講師を務める稲葉俊佑さんの説明をしっかりと聞いた後、伐採する木の場所まで移動します。子ども達は斜面を下りながら、小石を拾ったり、枝に触れたり。森の様子に好奇心が刺激されたようです。

丸太を板にできるかな?

『6歳になったら机を作ろう! 木こり&机作り体験』は、10数年前から、毎年本山町で開催され続けているイベント。それぞれ別日に行われますが、今回は2022年10月に開催された「木こり体験」に参加しました。



今日も安全に木が切れますように。



午後は工房で製材の体験です。機械が大きな音をたてますが、子ども達は怖がることなく、積極的に体験しました。ハンドルをゆくり回すと、刃が回転しながら木を切り、どんどん前進。左横下側から切りくずが飛び出て、あたりにも家族で参加している下川さん。その時に作った長男の机を補修する時、「表面を削るたびに木のいい香りがするんです。まさにこの香り!」と顔をほころばせます。

実際に1つのものができる工程を知って体験することで新しい経験値を増やした子ども達にとって、また、その様子を間近で見守る家族にとって、素晴らしい1日になったようです。「今度は次男の机を」。下川さんご家族は、年明けにおこなわれる机作り体験を心待ちにしています。



切ることが楽しくなった子ども達が、稲葉さんから薪割りも教わります。

2023年体験開催スケジュール

- 木こり体験** 10:00~15:00
 - 2月11日(土)
 - 3月11日(土)
- 机作り体験** 10:00~15:00
 - 2月25日(土)
 - 3月25日(土)
 - 4月29日(土)
 - 5月5日(金・祝)
 - 6月24日(土)
 - 7月22日(土)
 - 7月29日(土)
 - 8月26日(土)

問合せ/ばうむ合同会社
TEL/0887-76-3355
住/長岡郡本山町助藤1372
(吉野川リビング協同組合内)



あっという間に丸太が板にカットされる様子にワクワク。

